

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA原田校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されず、お子様の強みや課題にねらいを合わせた支援内容を提供しております。	一人一人の強みや課題に合わせ、ねらいを明確にした活動を提供しております。また、毎日の活動内容を事業所内に掲示し、利用する子どもたちが活動への期待感を持てるようにしております。お子様の得意なことを探ったり、強みを伸ばせるような様々な本物体験を提供しております。	活動の内容の多様性を高めるために、職員の支援スキルの向上を継続してまいります。地域にある社会資源を有効に活用し、地域との交流が図れるような活動内容を提供してまいります。
2	就学に向けた移行支援として、利用者の希望に合わせて放課後等デイサービスの時間帯での支援を行っております。	就学前のお子様に向けて、移行支援として小学生との交流が持てるよう支援しております。児童発達支援から放課後等デイサービスへ継続して利用されるご家庭にとっても、慣れた環境があることが安心材料となっており、就学後の相談も事業所として適宜行っております。	今後も保護者会などを通して、就学前の情報交換を行えるようにしてまいります。指導員だけでなく小学生のお子様を持つ保護者からの経験談を聞くことで、就学前の不安が和らぐような場となるようにしてまいります。
3	子どもの成長や課題をご家庭と共有し、支援の改善に取り組んでおります。	送迎時や毎月のヒアリングを通して、お子様の成長や課題、ご家庭や園でのお悩みなどを共有しております。また、必要に応じて園や関係機関との連携も行っております。	子どもたちへの支援だけでなくご家庭への支援も継続して行っていくために、ペアレントトレーニングや保護者会の内容をより充実させてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない子どもたちと関わる機会を計画的に実施してまいります。	戸外活動で地域の公園や公共施設に出かけた際、障がいのない子どもたちと関わる機会があるため、特別な交流の機会を設けておりませんでした。ただ、公園などでも他のお子様と関わりを持つ子とそうでない子の差があるので、計画的に交流できる場を設ける必要があると考えております。	地域にある社会資源を活用し、地域の子どもたちと交流できるような場を設定してまいります。
2	防災訓練などを開催した際、多くの方に周知できるような態勢を整えてまいります。	毎月1回防災学習や訓練を行っておりますが、SNSなどでの発信が不十分であったと感じております。また、SNS以外の方法での発信も充実していく必要があると考えております。	毎月1回防災学習や訓練の様子をSNSで発信してまいります。また、イベント案内や保護者同士の交流の場での周知も継続してまいります。
3			